

生と死を考える福島の会 2018年度 総会記念講演会

〈演題〉

住職から見た生と死の世界

◆日時 平成30年

4月21日(土) 13:30~15:00

(開場は13:00~)

◆会場 福島市市民会館 第2ホール

福島市霞町1番52号

◆会費 無料

◆講師 松柏山常圓寺 住職

阿部光裕氏



〈講師プロフィールと活動〉

常圓寺(福島市山口)住職。曹洞宗宗議会議員。福島県困基連盟会長。福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」代表。社団法人「ふくしま学びのネットワーク」理事。保護司。

震災三ヶ月後に、寺の所有地に仮置き場を設け、除染ボランティアを始める。

また、30万体(広島・長崎の原爆犠牲者の数)の地蔵をアメリカから届けるという“平和のための地蔵プロジェクト”の日本代表や市民のための“明るい寺子屋『つるりん学校』”を主催し、地域に開かれた寺として開放している。

また、法務省主催全国人権フォーラムの講師を務めた。

● 事前の申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

※当日、入場整理券を発行します(先着順、定員120人)

※会員優先席を設けますことをご了承願います

● 問合せ先/生と死を考える福島の会 事務局

電話: 090-8922-9030

ホームページ: <http://seitosifuku.sakura.ne.jp>

で

● 駐車場の混雑が予想されます。公共交通機関等のご利用をお願いいたします。

主催 生と死を考える福島の会

【後援】 福島市/福島市教育委員会/福島民報社/福島民友新聞社
桜の聖母生涯学習センター

